

2018年(平成30年) No.66



けいせい

発行者：和歌山蹊成会 和歌山市直川 612-1 TEL：073 (461) 5002 FAX：073 (461) 5007



浜田  
しんすけ

この4月で平成30年の新年度を迎えて、新入社、新入学はもちろんのこと、数多くの方が新しい環境で新たなスタートをされました。その方々を取り巻く環境の変化が、希望と不安を含みつつも、新たに成長するひとつの節目になることを、私は大いに期待しています。

政治の世界に目を転じると、施政者が長くその地位に留まると、決していい結果を生むことはありません。「長期安定」という言葉がありますが、政治の世界においては、長く続けることが本当の安定に繋がることにはならないと私は考えています。現在の国政や地方政治も、もちろん例外ではありません。

しかし、現状を考えると、そう単純に指摘することは難しいような気がします。例えば、今日の報道を見る限り、安倍内閣が仮に長すぎたとしても、その安倍内閣に変わる新たな勢力や次を担う人材が見当たらない不幸が今の現状に混乱や戸惑いの拍車をかけています。ここで考えなければいけないことは、私達が健全な社会を安定的に維持することを望むなら、後継となるべき次世代を育てる努力を惜しまず始めるべきではないでしょうか。この育て引き継ぐ努力を怠けてしまえば、そこには社会の混乱しか生まれてこないと思います。新年度を迎えるように、新しい人々が新たな責務に就く世の中こそが今まさに必要かもしれません。

皆様の御厚情に感謝しつつ、冒頭の御挨拶と致します。

和歌山市議会議員

## 平成30年度2月定例会市議会での



## 人口予測に関して

## 浜田

私は地域の人口は、幸福度を表すひとつの重要な数値だと思っています。

昨年、作成した第5次和歌山市長期総合計画では、平成38年度の和歌山市の目標人口を34万7千人としています。

この数字は、国立社会保障人口問題研究所の推計32万6千人よりも2万1千人多い目標人口になります。

人口予測の数字からは、目標に対して、少し厳しいのではないかと思います。市長はこの一年、和歌山市の人口は目標通り推移していると感じていますか。

また、私見ではありますが、中心市街地活性化のキープポイントは女性の力ではないでしょうか。商業地として賑わうところはどこも女性の評価が高いところだと感じます。

そこで「女性から評価される」を意識して施策を考えてみてはどうでしょうか。

## 市長

第5次和歌山市長期総合計画の策定時の考え方として自然動態に関しては、合計特殊出生率について、国と県の間値をめざし、社会動態に関しては、段階的に転出抑制及び転入促進を見据えた政策を進め、平成38年度の目標人口を34万7千人と設定しました。その進捗状況については、平成28年、29年それぞれの国勢調査基準人口を比較しますと、約2100人の減少となっております。

国立社会保障人口問題研究所の推計値では2600人の減少となっており、500人程度は減少を抑制できていると言えます。長期総合計画の目標人口についても比較してみますと、600人程度、減少数が多くなっており、現時点では、目標通りとは言えない状況となっております。

また、女性の評価を意識するという点については、国土交通省の調査でも買い物、レジャーに出掛ける人の割合は女性の方が高いという結果がでています。

本市で開校する大学でも女性の割合が高いとされる学部であることから、まちなか魅力向上の施策には女性の評価を意識する必要があると考えます。

にぎわい創出のための施策  
中心市街地の活性化

## 浜田

市長は、3大学誘致、市駅前開発、市民会館、再開発事業の促進、和歌山城整備、リノベーション街づくりなど、活性化に向けた施策に数多く取り組まれています。しかし、行政の力だけでは、本当の市政発展は望めません。

中心市街地における、現状の公共交通機関の乗降客数、昼夜間人口、また交通量などを分析して、中心市街地の滞留人口や定住人口の現状を数値化し、それを基本として10年後の目標を定め市民の皆様にお示しして、期待をもって頂く。

その数値目標を公表することで、民間投資を呼び込むなどの効果が期待できるのではないかと思います。この取り組みについてどう思われますか。また、その方策をどう考えられていますか。

## 市長

第5次和歌山市長期総合計画において、中心市街地に関する指標は、10年後(平成38年度)のまちなか居住人口を約3万2千人とし、まちなか居住人口比率9.3%とすることを目標として設定しています。

中心市街地に関連する統計データとして、観光客入込客数や昼夜間人口比率、地区別年齢別人口、公共交通利用者数などをホームページ等で公開しています。これらのデータに加え、商業地の公示地価やリノベーション件数などをわかりやすく公開するとともに、10年後の目標値の設定についても研究して参ります。

拠点整備については、できる限り民間活力を生かして取り組んでいるところです。まちなかに更なる民間投資を呼び込むためには、各拠点の整備に加え、まちに連続性を持たせエリア全体の価値を高めること、将来に希望を持てるまちだと思われることが重要だと考えています。

生まれ変わるまちなかとその魅力を積極的に発信することで、民間の投資意欲を喚起できるよう進めてまいります。

## 一般質問内容(抜粋して掲載しています)



### にぎわい創出のための施策 3大学誘致

**浜田**

市長は3大学の誘致を積極的に取り組んでこられました。そのことは、素晴らしい事です。

しかし、いよいよ開校を目前に控え私達は、彼らの卒業後、就職時に本市に留め置くことができるよう取り組んでいかなければなりません。

そこで、大学誘致後の事をどうお考えですか。

**市長**

現在、誘致が決定している大学は、看護師、保育士、薬剤師など専門性の高い人材を養成する大学で、3分野とも就職時における本市での需要は高く、市内での就職先も十分あります。また実習などで本市の就職先を知ってもらうこともできます。

今後は、大学と連携し、学生に地域の祭りやイベントへの参加を投げかけるなど、様々な機会を通じて本市に愛着を持ってもらい、「和歌山市で働きたい、住みたい」と選ばれるまちづくりへ取り組んで参りたいと考えています。

### にぎわい創出のための施策 I R 誘致

**浜田**

現在は、まだ何も決定せず法制化もできていません。報道などによりますと、市長が考えるカジノ施設(外国人専用・中規模施設等)とは違った方向になりつつあるように思いますが、このまま誘致の考えは変わりませんか。また、要望活動を続けていきますか。

**市長**

政府の制度設計案では、日本を代表する規模の国際展示場や国際会議場を併設することとされているなど、地方自治体には厳しい内容と言えます。制度設計がまだ不確定でありますから、今後の議論を注視しながら、これまで通り国等への働きかけなど取り組んで参ります。



### にぎわい創出のための施策 中央卸売市場・道の駅

**浜田**

市場の建て替えは従来の計画通り進みつつあります。

私はこの時期にあっても、市場移転を議論すべきだとする立場に変わりありません。現地建て替えにおいて、立地から発生する防災の問題、物流の問題、流通形態の変化に対しての市場の適応性、将来性を見込んだ費用対効果、にぎわい創出の拠点としての疑問など、数々の指摘をしてきました。

今年度には、基本計画が策定されるとのことですが、基本設計における変更点や改善点があれば教えて下さい。

そして、にぎわい創出の拠点としての余剰地活用を市長が望むならば、従来の農林部内に企画、立案計画などを委ねるのではなく、市役所内の他局にまたがり有効活用を検討する集まりを作るべきだと思いますが、市長の考えを伺います。

**市長**

基本計画の施設整備コンセプトを基に、機能的でコンパクトな市場、食の安心・安全を提供する市場、また市民にも開かれた市場を目指して基本設計を行っており3月末の完成予定です。基本設計においては、場内事業者との協議を重ねた上で、スムーズな物流動線の確保の観点から、進入路や場内の車両動線、一部建物の配置の変更を予定しています。余剰地については、基本設計終了後、面積等が確定しますので、道の駅を中心として、市民の方々にとって利用しやすく喜んでいただけるよう市場と連携して食の魅力を発信する施設として位置づけ、アイデア募集を行うなど、関係部課により余剰地に必要な機能の検討を進めているところです。余剰地活用を具体的に進めて行くにあたり、関係する局が連携し知恵を出し合いながら、有効的な活用を検討していくことが必要であると考え、関係部局が集まる横断的な検討の場を設けて参ります。



**私達は、諸施策をどう生かし、育てるかを考え実行することを和歌山市の最大目標にしなければなりません。**

## 西脇山口線の田屋工区が開通

和歌山市北部を東西に結ぶ、県の都市計画道路「西脇山口線」全長16.8kmのうち、田屋工区(約1.6km)が3月20日に開通しました。現道の粉河加太線など周辺道路の渋滞緩和や歩行者の安全を目的に整備されてきました。活力のある地域づくりや防災機能の向上も期待されます。

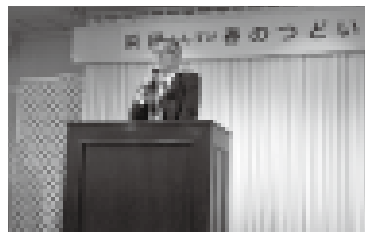
午前11時半から開通式典が行われ、午後3時から供用開始となりました。



## 和歌山蹊成会 浜田しんすけ 春のつどい

去る2月18日(日)和歌山蹊成会、浜田しんすけ春のつどいを開催致しました。今年も、市役所から産業まちづくり局産業部長三橋郁氏をお迎えして、「和歌山市のまちづくり」について、資料を基にお話し頂きました。

人口減少に対する施策、例えば大学誘致、市駅前再開発、市民会館、和歌山城整備など、まちなかを活性化する取り組みについて。また、和歌山市の取り組み(大学誘致などによる昼間人口の増加。まちなかの空家利用の増加など)が認められ国土交通省から、コンパクトシティモデル都市10選に選ばれたことなども聞かせて頂きました。浜田からは、賑わいを取り戻すまちづくりについて、将来を見据えて、若い力をどう育てていくのか等を、市政報告としてお話しさせて頂きました。次回も、楽しく過ごして頂く会となりますよう企画を致します。ぜひ、ご参加ください。お待ちしております。



## 浜田しんすけに教えてください

日頃、感じている市政へのご要望やご意見をお寄せください。

浜田しんすけホームページ

<http://hamadashinsuke.com>

※ホームページ内にブログも開設しました。



フェイスブック

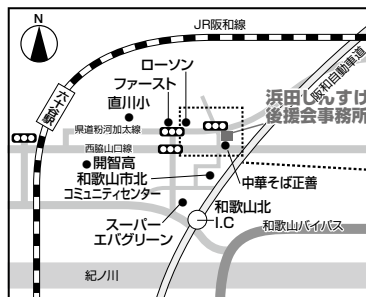


kaikaku1961@yahoo.co.jp

浜田真輔



上のQRコードを携帯電話でバーコードスキャンすればHPに即アクセスできます



事務所周辺拡大図



〒640-8481 和歌山市直川 612-1 YKM ガーデン 1F  
TEL 073(461) 5002 FAX 073(461) 5007